

### 第3学年国語科学習指導案

日 時 令和3年10月1日(金) 2校時  
 児 童 男子1名 女子2名 計3名  
 指導者 貴田 靖子

1 単元名 パラリンピックについて調べよう

2 教材名 パラリンピックが目指すもの(東京書籍 3年)

3 目指す資質・能力

〔知識及び理解〕

・必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解することができる。 (2)イ

〔思考力, 判断力, 表現力等〕

・目的を意識して, 中心となる語や文を見つけて要約することができる。 C(1)ウ精査・解釈  
 ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。 C(1)カ共有

〔学びに向かう力, 人間性等〕

・言葉がもつよさに気付くとともに, 幅広く読書をし, 国語を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする。

4 単元について

(1) 児童について

5月の「自然のかくし絵」の単元において, 段落の内容をとらえ, 感想を伝え合う学習を行い, 7月の「ほけんだよりを読みくらべよう」の単元においては, 同じ趣旨やテーマで, 表現の異なる2つの文章を比較し, 段落の内容をとらえながら, 書き手の意図の違いを読み取る学習を行った。児童は, 読み取りの速さや学習内容の定着については個人差が大きい, 文章を読むことや国語辞典をひいて様々な言葉にふれることが大好きであり, グループ学習でも意欲的に取り組んでいる。

(2) 教材について

本教材は, パラリンピックの概要や理念について説明し, 具体的な2つの競技を紹介する文章である。パラリンピックとはどういうものか, 具体的な種目, 大切にしている考えや目指すものといった複数の話題で構成されており, 話題ごとに大事な言葉や文をみつけて要約することに適した教材文である。また, 児童にとって身近なスポーツの話題や体育科での取り組みと関連付けることで興味や関心を持って取り組むことができる教材である。

(3) 指導について

本単元では, パラリンピックについて調べて分かったことをリーフレットにまとめて紹介するという言語活動を位置付けた。「説明文の家」を作りながら教材文を4つの観点で要約して1ページずつ累積していき, 最後に自分で調べたページを付け加えてリーフレットを完成させるという活動を通して, 目指す資質・能力に迫ることができると考えた。

指導について次の2点に留意する。1つ目は, 「要約」に対する課題意識を導入段階で持てるようにするために, リーフレットを提示し, 文章を短くまとめる必然性を持てるようにすることである。要約についてはこれまでの学習でも形式段落ごとにまとめる活動を行ってきたが, 話題のまとまりごとの要約は初めてである。目的に応じて「大事な言葉や文」をとらえて再構成するのが今回の要約であるという意識を単元を通して持ち続けられるようにしたい。2つ目は, 見通しを持って取り組めるよう, 要約の観点をはっきりと示すことである。それにより間接指導における話し合いにおいても視点がはっきりし, よりめあてに迫った要約のあり方の共有ができると考える。また, 書き方や書式の指定, 字数の目安も提示し, 話し合いや考えが深まるような手立ても考えていきたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解している。 (2)イ	①「読むこと」において, 目的を意識して, 中心となる語や文を見つけて要約している。 (C(1)ウ) ②「読むこと」において, 文章を読んで感じたことや考えたことを共有している。 (C(1)カ)	○これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし, 中心となる語や文を見つけて要約したり, 事典や図鑑などから情報を得たりして分かったことをまとめて説明しようとしている。

## 第4学年国語科学習指導案

日 時 令和3年10月1日(金) 2校時  
 児 童 男子1名 女子2名 計3名  
 指導者 貴田 靖子

1 単元名 暮らしの中の「和」と「洋」について調べよう

2 教材名 暮らしの中の和と洋(東京書籍 4年)

3 目指す資質・能力

〔知識及び理解〕

・比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使うことができる。 (2)イ

〔思考力, 判断力, 表現力等〕

・目的を意識して, 中心となる語や文を見つけて要約することができる。 C(1)ウ精査・解釈

・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。 C(1)カ共有

〔学びに向かう力, 人間性等〕

・言葉がもつよさに気付くとともに, 幅広く読書をし, 国語を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする。

4 単元について

(1) 児童について

児童は, 3年生の同系統「パラリンピックが目指すもの」で調べたことをリーフレットにまとめる情報活用の学習を行った。また, 5月の「ヤドカリとイソギンチャク」の単元において, 文章のまとまりをとらえる学習を, 7月は「広告を読みくらべよう」では作り手の意図や目的による表現の違いについて学習を行った。これらの学習を通して, 文章のまとまりをとらえ, 段落相互の関係を考えながら読み進めている。文章を読むことが好きではあるが, 読み進める時間には個人差がある。

(2) 教材について

本教材は, 暮らしの中の「住」における「和」と「洋」の違いやそれぞれの良さを対比して, 分かりやすく説明したものである。文章構成を押さえたうえで, 「和」と「洋」の対比構造に気づかせていき, それぞれの良さをどのような観点から比べているのか, またその観点に沿ってどのような事例が挙げられているのかがとらえやすい教材である。

(3) 指導について

本単元では, 暮らしの中にある「和」と「洋」について調べ, 紹介文を書いてまとめるという言語活動を設定した。読み進めるにあたり, 教材文の中にある比較構造を読み取り, どのような観点で比べているのかを要約し「説明文の家」にまとめていく。

指導について次の2点に留意する。1つ目は, 比較の観点とそれぞれの良さや情報の関連をとらえやすくするために, 段落構成に着目して内容を読み取り構造的に整理していくことである。その際には自分の生活に置き換え, 暮らしの中の「和」「洋」を意識しながら読み進め, 紹介文へつなげていく。2つ目は, 考えの共有を進められるように, グループでの話し合う時間を確保することである。児童の見方や考え方を広げるような協働的な学び, 深い学びへとつなげていきたい。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現	主体的に学習に取り組む態度
○比較や分類の仕方, 必要な語句などの書き留め方, 引用の仕方や出典の示し方, 辞書や事典の使い方を理解し使っている。 ((2)イ)	①「読むこと」において, 目的を意識して, 中心となる語や文を見つけて要約している。 (C(1)ウ) ②「読むこと」において, 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し, 一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 (C(1)カ)	○これまでに学習したことを振り返って学習課題を明確にし学習の見通しをもって, 粘り強く目的を意識して文章を要約し, 紹介文を書こうとしている。

6 単元計画 (全13時間)

		3年生	4年生
次	時	○主な学習活動 ・指導の手立て ●評価規準 [ ]は観点, 下線は評価するもの	
1	1 2	○単元のゴールを知り, 学習材を読み, 学習計画を立てる。 ・3年生と4年生の学習の目的を明確にして, これまでの学習を振り返り単元の見通しを立てられるようにする。 ・観点を明確にして初発の感想を書き, 交流できるようにする。	
2	3	○文章をまとまりに分け, 文章構成をとらえる。 ・文章をはじめ・中・終わりに分け, おおまかな4つの話題を確認する。終わりに伝えたいことが書かれていることをとらえられるようにする。 ●筆者が一番伝えたいことをとらえているかの確認。 [知識・技能] <u>シート, ノート</u>	○文章をまとまりに分け, 文章構成をとらえる。 ・形式段落の内容のつながりを意識して内容のまとまりをとらえ, おおまかな観点到りまとめられるようにする。 ●文章の構成やまとまりをとらえているかの確認 [知識・技能] <u>シート, ノート</u>
	4 5	○①～④段落の内容を要約しながら文章を読み取る。 ・要約の仕方について理解できるようにする。 ・「パラリンピックとは何か」「パラリンピックの競技はどのようなものか」について, 大事な語や文を見つけ, 短い文章で要約できるようにする。 ●それぞれの内容を要約しているかの確認。 [思考・判断・表現①] <u>シート, ノート</u>	○「和」と「洋」について紹介文にまとめるポイントを文章からとらえる。 ・違いと良さに焦点化し, どのような観点到りまとめられているか読み取り構造的に整理できるようにする。 ・読み取ったポイントを一般化する。 ●紹介文にまとめるポイントを理解したかの確認。 [思考・判断・表現①] <u>シート, ノート</u>
	6	○⑤～⑧段落の内容を競技ごとに要約しながら文章を読み取る ・「水泳」について, 競技の説明と障害に応じて工夫したルールに視点を置き, 文章の大事な語や中心となる文を見つけ, 競技ごとに要約できるようにする。	○くらしの中の「和」と「洋」の違いに着目して見つける。 ・違いに着目して見つけ, お互いの考えを共有する。 ・自分が調べたい課題を選べるようにする。 ●自分と友だちの考えを共有し, とらえ方に違いがあることに気付いているかの確認。 [思考・判断・表現②] <u>交流, ノート</u>
	7 本時	・「ボッチャ」について, 競技の説明と障害に応じて工夫したルールに視点を置き, 文章の大事な語や中心となる文を見つけ, 競技ごとに要約できるようにする。 ●競技の内容を要約しているかの確認。 [思考・判断・表現①] <u>シート, ノート</u>	
8	○⑨～⑪段落の内容を要約しながら文章を読み取る ・「パラリンピックにとって大切なものは何か」「パラリンピックが目指すものは何か」について大事な語や中心となる文を見つけ, 要約できるようにする。 ●段落の内容を要約しているかの確認。 [思考・判断・表現①] <u>シート, ノート</u>	○自分が選んだ「和」と「洋」について調べる。 ・比べる観点を確かめ, 様々な資料から必要な情報を集められるようにする。 ・調べたことを, 学んだことを生かして整理できるようにする。 ●自分の課題について, 複数の情報をつなげながら整理しているかの確認。 [知識・技能] <u>ノート</u>	

	9	<p>○パラリンピックについて知りたいことを考え、紹介したい内容を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競技を提示し、どれについて調べたいか話し合っ て決められるようにする。</li> <li>・目次や索引の使い方を理解し、調べる方法を確 認する（百科事典や図鑑、本など）</li> </ul> <p>●自分が調べたい競技を考え、決めているかの確 認。 [知識・技能] シート, ノート</p>	
	10	<p>○自分が調べたい内容の情報を集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事実と意見を明確にしたメモがとれるようにす る。</li> </ul> <p>●情報を収集しているかの確認。 [知識・技能] シート, ノート</p>	<p>○集めて整理したものをまとめ、紹介文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめ・中・おわりの構成を確認し、調べたこ とを要約したり引用したりして文章にまとめら れるようにする。</li> </ul> <p>●構成や内容を意識しながら文章をまとめている かの確認。 [主体的に学習に取り組む態度] 紹介文</p>
	11	<p>○調べたことを分かりやすく要約する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報の語や文を整理しながら、大事な文 を落とさないように要約できるようにする。</li> </ul> <p>●自分が調べたことを大事な語を落とさずに要約 しているかの確認。 [主体的に学習に取り組む態度] リーフレット</p>	
3	12	<p>○調べたことをまとめてリーフレットを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要約した文章をもとに、3人分をまとめてリー フレットにし、お互いに読み合う場面を作る。</li> </ul> <p>●友達がまとめた内容を読み、友達の見方や考え 方を知ることができたかの確認。</p> <p>●学習を振り返り、要約の仕方が分かったかの確 認。 [思考・判断・表現②] 観察, ノート</p>	<p>○お互いの書いた紹介文を読み合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介文を読み合い、考え方や感じ方の違いと良 さを認め合えるようにする。</li> <li>・紹介文の感想を伝え合い単元の学習を振り返 ることができるようにする。</li> </ul> <p>●友達の紹介文を読み合い、いろいろな考え方や 感じ方を知ることができたかの確認。</p> <p>●学習を振り返り、調べたことを関係づけるこ とが分かったかの確認。 [思考・判断・表現②] 観察, ノート</p>
13			

## 7 本時の指導（7／13）

### (1) 本時の目標

- 3年生…「ボッチャ」について、大事な語や文を見つけて要約しながら文章を読み取ることができる。
- 4年生…暮らしの中の「和」と「洋」について、自分と友だちの考えを共有し、とらえ方に違いがあることに気付くことができる。

### (2) 協働的な学びについて

- 3年生…前時は「水泳」について要約したことを想起し、本時はパラリンピックにしかない競技である「ボッチャ」を要約することを確認する。競技の説明と障害に応じて工夫したルールに視点を置き、主述がとらえやすくなるよう文型を提示し、前時の学習を生かして各自で要約の文章を書く。そして各自が書いた文章について意見を交流し、よりよい要約文を話し合えるようにしたい。
- 4年生…前時までの学習で、「和」と「洋」の紹介文をまとめるポイントが「最も大きな違い」とそれによって生み出される差である「観点」と「それぞれの良さ」であることを整理したことを確認する。本時では、まず身近な生活の中の「和」と「洋」について、違いに着目して各自に組み合わせを考えられるようにする。その後、グループで確認し、自分が着目した違いとそれによって生まれる良さを話し合い、友達の見方や考え方を聞いて一人一人の感じ方の違いに気付くとともに、自分の課題を決められるようにしたい。

(3) 本時の展開

3 年生		4 年生			
指導上の留意点 ●評価規準	学習活動	段階		学習活動	指導上の留意点 ●評価規準
<ul style="list-style-type: none"> <li>共通導入を行いどんな学習をしているのか確認し合う。</li> </ul>	1 本時の確認 学習課題を確認する。 「ボッチャ」きょうぎについて要約しよう。	つかむ 5分	つかむ 5分	1 本時の確認 学習課題を確認する。 暮らしの中の「和」と「洋」を見つけ、自分の課題を決めよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通導入を行いどんな学習をしているのか確認し合う。</li> <li>違いに着目することを確認する</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の「水泳」のまとめ方を参考にすればよいことを確認し見通しがもてるようにする。</li> <li>筆者が一番伝えたいことにつながるルール工夫に着目できるよう板書などで配慮する。</li> <li>●大事な言葉や文を見つけて要約しているかの確認。 [思考・判断・表現①] シート, ノート</li> </ul>	2 課題解決 (1) 課題解決のための方法を見通す。 ① 競技の説明と障害に応じたルールの2点の観点についてまとめればよいことを確認する。 ② 要約の仕方を確認する。	深める 10分	深める 15分	
(2) 大事な語や文を見つけ、要約する。 ① 1人で考える。 ② 友達と確認する。		15分	10分		
(3) 全体で確認し、ボッチャ競技の要約文を確認する。		5分	5分		
	3 まとめ ・ボッチャについて要約できたか自分の学び方についての振り返りを書く。	まとめ 10分	まとめ 10分	3 まとめ ・自分と友だちの考え方の違いについてどう感じたか書く。 ・自分の学び方についての振り返りを書く。	

(3) 本時の評価規準

		おおむね満足 (B)	努力を要する児童 (C) への手立て
読むこと	3 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ボッチャ」について、大事な語や文を見つけて要約しながら文章を読み取っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳の文章の要約の仕方を振り返り、同じように考えればよいことに気付くよう促す。</li> </ul>
	4 年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしの中の「和」と「洋」について、自分と友だちの考えを共有し、とらえ方に違いがあることに気付いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「はし」と「フォーク」のように違いをとらえやすい具体的なものや観点を見つけやすいものを提示して考えられるようにする。</li> </ul>